

題 笑顔をとれないで

一年一組十七番高木ひかり

私は、大災害というものを経験したことがありません。しかし、インドネシアで起こったスマトラ沖地震では、私よりも小さな子供達が災害に巻き込まれました。インドネシアでは、日本のように、地震が起こったらどうすればいいという防災知識が少ししかありません。だからたくさんの方々が出たのだと思います。日本とインドネシアは、同じ地震が多い地域だけど、知識の違いを、スマトラ沖地震によって学びました。

地震では、何万人という人々をあっという間に殺してしまいます。そして、着る物も食べる物も住む所も失います。経済が発達した国ならば、着る物、食べる物、住む所は補うことができるけれど、まだまだ発展途中の国では、補うことができません。人が七なくなるといえます。そうならないためにも、災害に関する知識を世界に広げていく必要があると思います。命を守るためにも、知識を多く得るといふ事は大切なことです。

一年一組十七番高木ひかり

私は、地震を乗りこえた子供達に、明るい
未来を生きてほしいと思います。これから先
に何がくるかは、誰にも分からないけれど、
いつでも笑顔でがんばる気持ちを忘れないで
ほしいです。